

報道各位

商工観光・ふるさと創生課

はたやブックレット9「麻の糸・布と^{こしばた}腰機」の発刊について

このことについて、織物の歴史を伝えるはたや記念館ゆめおーれ勝山のミュージアム機能(企画展、講演会、フォーラムなどの調査研究・展示普及)の成果をまとめた「はたやブックレット」を発刊しましたのでお知らせします。

記

1. はたやブックレット9の内容

- ◎本書は弥生時代以来続く「腰機」と呼ばれる腰を使ってたて糸を引っぱったり緩めたりすることを繰り返しながら織物を織っていく機織りについて紹介しています。
- ◎勝山市鹿谷町志田神田遺跡では、弥生時代中ごろの腰機の一つ「原始機」が出土しています(現時点では県内唯一の事例)。また、昭和30年(1955)ごろまでは、村々で同じく腰機の一つである「地機」による麻織物づくりが行われており、勝山地域では、2000年以上にわたって、腰機による機織りが行われてきたことがわかります。
- ◎本書では、以上のような腰機の歴史と、福井県・石川県・滋賀県における腰機の紹介やその活用事例を各地域の研究者にまとめて頂きました。

※本書の構成や過去に発刊されたはたやブックレットについては別紙資料をご参照ください。

2. 配布・販売予定

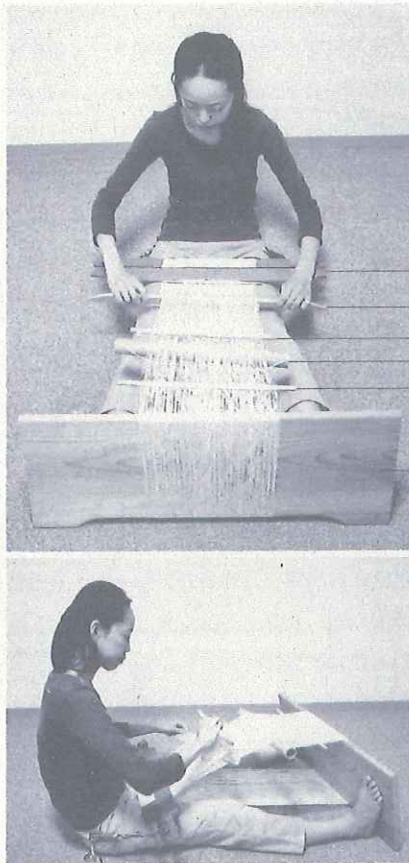
- (1)図書館・研究機関・博物館などに配付する予定
- (2)関係者配布後の残部については販売を行います。定価は、1冊800円(税込)、当館お土産処「シルク」にて販売します。

※新型コロナウイルス感染症対策による休館中の場合は、受付にて販売します。

※郵送による購入をご希望される場合は、定価に送料を添えて現金書留でお申し込み頂きます。くわしくはゆめおーれ勝山までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先
商工観光・ふるさと創生課はたや記念館振興係
(はたや記念館ゆめおーれ勝山)
担当 松村
Tel87-1200 Fax87-1221
E-Mail yumekatsu@city.katsuyama.lg.jp

腰機の例



←原始機(腰機の一種)

※滋賀県の出土事例を復元したもの

布送具
緯打具
綜統
中筒
巻アヤ棒
経送具

↓地機(腰機の一種)

※勝山市北谷町で収集した民具を復元したもの



輪状式原始機の復元

布送具・経送具・緯打具は出土遺物から、その他の部品については民族例を参考に復元しました。(守山弥生織りの会)
東村純子「考古学からみた古代日本の紡織」六一書房2012年より

はたやブックレット 9 の構成

口絵 弥生時代・古墳時代の遺跡から出土した腰機の事例をカラー図版で紹介しています。

本文

(1) はたや研究会

① 弥生時代から現代につなぐ麻糸・麻布づくりと腰機—アジア諸国の事例から—
東村純子氏(福井大学国際地域学部)

② 弥生時代の機織り(輪状式原始機)復元と活用

—小松市・八日市地方遺跡の出土事例をもとに—
下濱貴子氏(小松市埋蔵文化財センター)

③ 滋賀県の機織り研究と地機の復元・活用

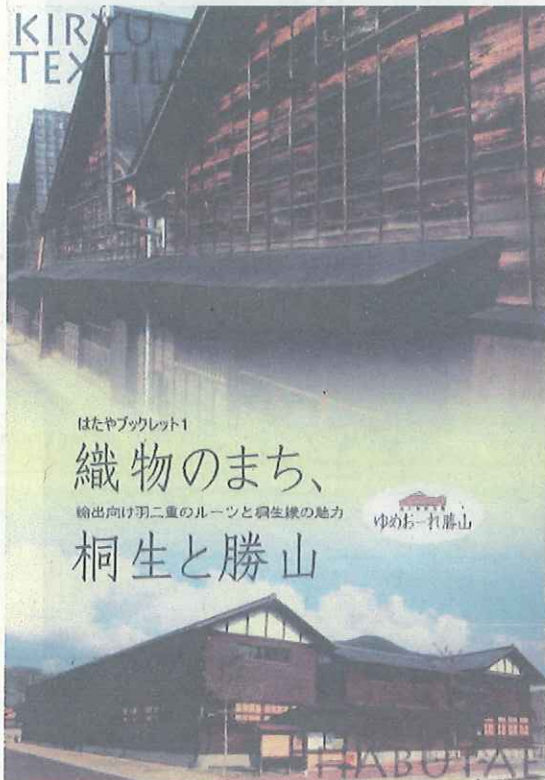
辻川智代氏(滋賀県立琵琶湖博物館)

④ 勝山市鹿谷町志田神田遺跡の調査と出土した弥生時代の機織り具

藤本聡子氏(福井県教育庁埋蔵文化財調査センター)

(2) フォーラム—むかしの糸・布づくりの技を未来へ伝えるために—
原始機の実演や麻糸づくり(糸績み)の実演を行った記録です。

はたやブックレットシリーズのご紹介(以後続刊予定)



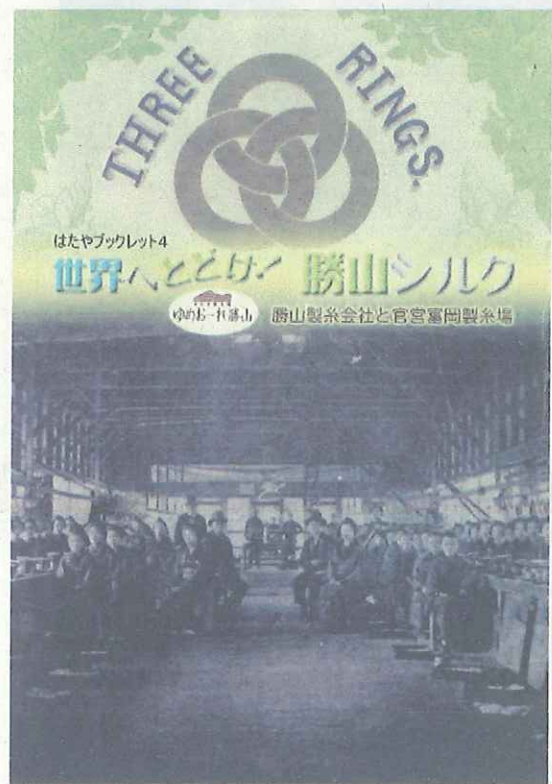
はたやブックレット 1 平成24年3月発刊
福井県に輸出羽二重の製織技術がどのように伝わったのか？群馬県桐生との関係は？



はたやブックレット 2 平成25年3月発刊
1500年の歴史がある「地機」の技術について、勝山の民俗資料からさぐります。



はたやブックレット 3 平成26年3月発刊
繊維産業の寄宿舎の歴史やそこでのくらしなどをさぐります。



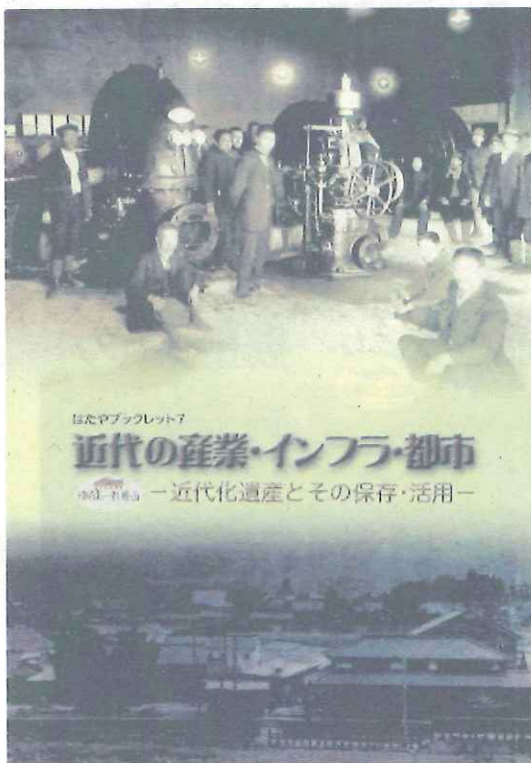
はたやブックレット 4 平成27年3月発刊
勝山の近代化の先頭を駆けぬけ、生糸づくりにかけた人びとの姿をさぐる。



はたやブックレット5 平成28年3月発刊
勝山の産業を作り出し、品質を高め、宣伝に力を注いだ先人たちの努力をさぐる。



はたやブックレット6 平成29年3月発刊
まちづくりの拠点・交流の場としての博物館のありかたをさぐる。



はたやブックレット7 平成30年3月発刊
明治時代のおわり、勝山の人たちはどのように新しい産業に取り組んだのか？



はたやブックレット8 平成31年3月発刊
明治時代、欧米に輸出された羽二重が何に使われたのかをさぐる。